

第2類医薬品

服用に際して、この説明文書を必ず読むこと
必要時に読めるように大切に保管すること

解熱鎮痛薬〈ピリン系〉イソプロピルアンチピリン配合
頭痛・歯痛・生理痛に



〔サリドンAの特徴〕

- 優れた効果を発揮するイソプロピルアンチピリン（ピリン系）を配合した鎮痛・解熱薬です
- 1回1錠の服用で速く効く、服用しやすいカプレット（カプセル型の錠剤）です

⚠〔使用上の注意〕



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）

- 次の人は服用しないでください
(1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
(2) 本剤または他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
- 服用時は飲酒しないでください
- 長期連用しないでください



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師または薬剤師にご相談ください
(1) 医師または歯科医師の治療を受けている人
(2) 妊婦または妊娠していると思われる人
(3) 水痘（水ぼうそう）もしくはインフルエンザにかかっているまたはその疑いのある乳・幼・小児（15歳未満）
(4) 高齢者
(5) 本人または家族がアレルギー体質の人
(6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
(7) 次の診断を受けた人：心臓病、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師または薬剤師にご相談ください
(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさがあらわれる
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる
ぜんそく	

- 5～6回服用しても症状がよくならない場合

【効能】

- 頭痛・歯痛・月経痛(生理痛)・神経痛・関節痛・腰痛・肩こり痛・抜歯後の疼痛・咽喉(いんこう)痛・耳痛・筋肉痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛
- 悪寒(おかん)・発熱時の解熱

【用法・用量】

次の量を、空腹時をさけて水またはお湯で服用してください

年 齢	1回量	1日服用回数
15歳以上	1錠	3回まで (服用間隔は4時間以上あけること)
8歳～15歳未満	1/2錠	
8歳未満		服用しないこと

- (1) 用法・用量を厳守してください
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください
- (3) 錠剤の取り出し方
図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる)



【成分・分量】

本剤は、白色の割線入り錠剤で、1錠中に次の成分を含有する

日局	イソプロピルアンチピリン	150mg
	(ピリン系)	
日局	エテンザミド	250mg
日局	カフェイン水和物	50mg
添加物:トウモロコシデンプン、セルロース、タルク、ステアリン酸Mg		

【保管および取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください
- (3) 他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり、品質が変わる)
- (4) 1錠を分割した残りを服用する場合には、清潔な紙に包み外箱中に保管し、2日以内に服用してください
- (5) 外箱に表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないでください

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願い致します

第一三共ヘルスケア株式会社 お客様相談室
〒103-8234 東京都中央区日本橋3-14-10
電 話 03 (5205) 8331
受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝日を除く)

ホームページ <http://www.daiichisankyo-hc.co.jp/>

®登録商標



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

東京都中央区日本橋3-14-10